

## 2. 災害に備える

### 2-1 水害に備えた事前の心構え

#### 避難について話し合みましょう

ステップ  
1

#### まず、自宅の位置を確認しましょう。

氾濫した場合の、浸水の状況を確認しましょう。ご自宅のある場所が何色に塗られているか浸水ハザードマップで確認しましょう。



ステップ  
2

#### 次に、自宅付近の指定緊急避難場所を確認しましょう。

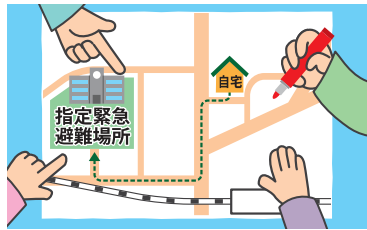
自宅に近い指定緊急避難場所を地図で確認しましょう。



ステップ  
3

#### 浸水箇所を避けて、避難経路を設定しましょう。

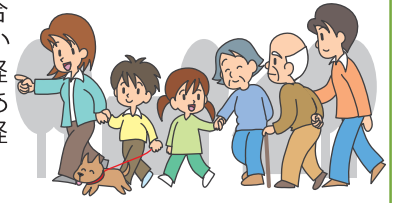
浸水が深い場所を避けて避難経路を設定しましょう。



ステップ  
4

#### 実際に避難経路を歩いてみて、安全を確認しましょう。

家庭や地域で話し合いながら、実際に歩いてみましょう。避難経路に危険な区域がある場合には、避難経路を見直しましょう。



#### 非常持出品を準備しておきましょう。

##### 貴重品

- 現金
- 印鑑
- 保険証など



##### 衣類 (季節に合わせて)

- 下着類
- 靴下
- 手袋・軍手
- 帽子
- セーター・レインウェア
- ひざかけなど



##### 洗面用品

- 石けん
- 歯磨き用品
- タオルなど



##### 赤ちゃん用品

- 粉ミルク
- ほ乳びん
- おむつ類
- ベビーパウダー
- おもちゃなど



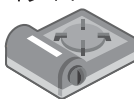
##### 水・食料品

- 飲料水
- 各種食品 (缶詰・カップ類などの保存食)
- 子供のおやつなど



##### 小物道具類

- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 予備電池
- カセットコンロ・固形燃料
- 敷物
- 新聞紙
- 箸・フォークなど
- 栓抜き・缶切り
- 大小ビニール袋
- ひも・粘着テープ
- 使い捨てカイロ
- 生理用品
- ハンカチ
- ティッシュ・ウェットティッシュ
- 筆記用具など



##### 医療品

- 常備薬
- 消毒液
- 包帯など
- マスク
- 体温計
- お薬手帳



#### 災害時の食料備蓄法「ローリングストック」

「ローリングストック」とは普段から少し多めに食材や加工品を買っておき、食べた分だけ新しく買い足していくことで、常に定量の食材を備蓄する方法のことをいいます。

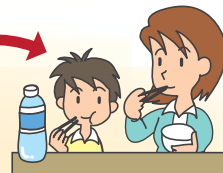
##### 備える

非常時の備えとして、食品や水などを備蓄しておく。



##### 食べる

備蓄した食品を定期的に消費する。賞味期限が短いものから食べるのがおすすめ。



##### 補充する

食べた分の食品を買い足して補充する。このサイクルを続けることで、すべての食材が入れ替わり、常に一定量の食品を備蓄しておく。



## ■ 浸水被害から家屋を守る

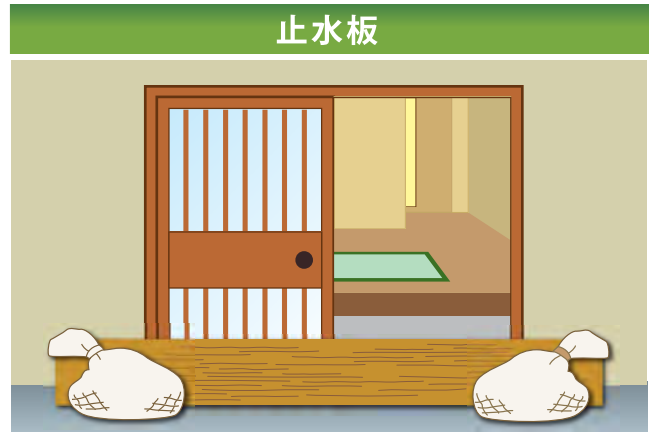
台風や集中豪雨による浸水被害を最小限に抑えるためには、普段からの備えが大切です。

浸水発生時には「土のう」や「止水板」を設置することで、道路から家屋内への雨水の浸入を抑えることができます。



土のう

出入りに口に土のうを使用し、浸水を防ぎます。



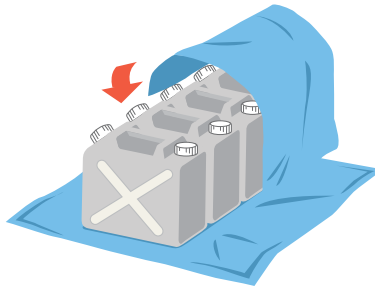
止水板

出入りに口に長めの板を使用し、浸水を防ぎます。

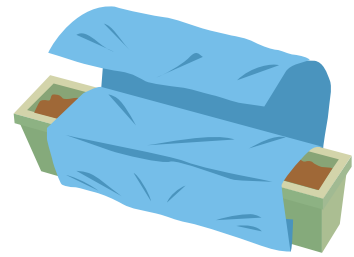
### ● 家庭にあるものを使って浸水被害を防ぐことができます



水を入れたビニール袋、段ボール箱とレジャーシートとの組合せ

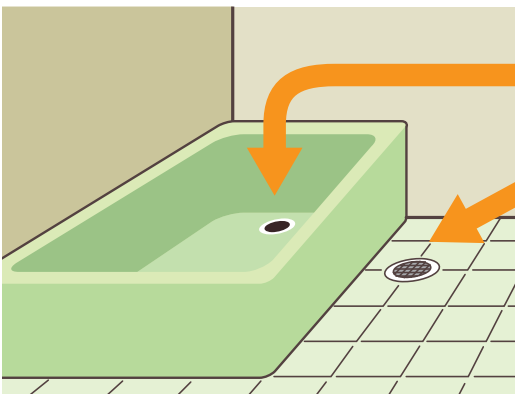


ポリタンクとレジャーシートとの組合せ



プランターとレジャーシートとの組合せ

### ● 意外なところから浸水が発生します



#### 水のうの作り方

ゴミ袋（45ℓ程度）を二重にし、中に半分くらいの水を入れます

お風呂や洗濯機などの排水口から逆流した水が溢れる場合があります。

水のうで栓をすることで防ぐことができます。

## 2. 災害に備える

### 2-2 避難行動判定フロー

台風・豪雨時に備えて浸水ハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう。

平時に  
確認

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、  
自宅の災害リスクととるべき行動を  
確認しましょう。

### 避難行動判定フロー

家がある場所に  
色が塗られていますか？

いいえ

屋内に留まる

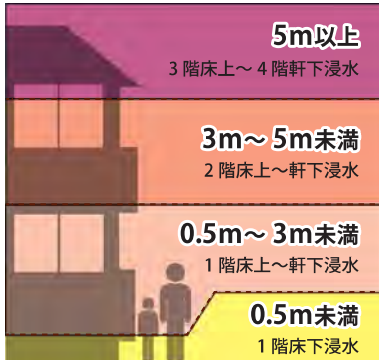
はい

家屋倒壊等氾濫想定区域に  
ありますか？

いいえ

居室は浸水の深さより  
低いですか？

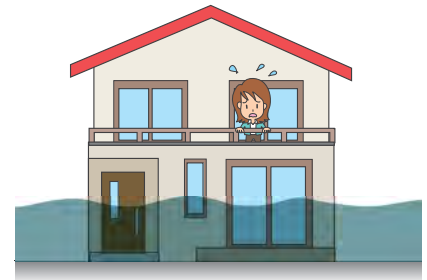
浸水の深さ



いいえ

自宅の上階など  
浸水しない場所に避難する  
(屋内安全確保) 垂直避難

※浸水継続時間が長い区域においては、  
孤立する可能性があります。

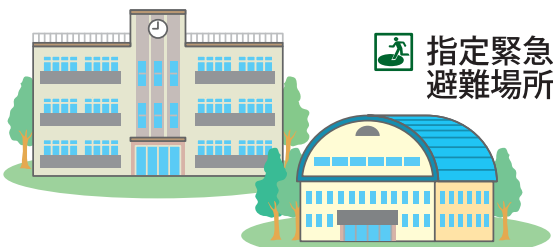


はい

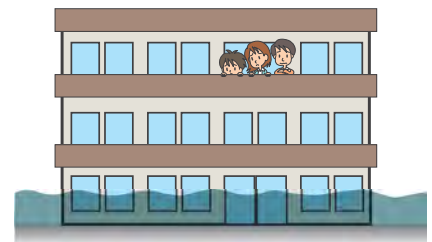
はい

指定緊急避難場所や親戚、知人宅へ避難

※親戚や知人に日頃から相談しておきましょう。



避難が遅れた場合は、近隣のマン  
ションなどの高い場所へ避難し  
ましょう。



## 2-3 マイ・タイムライン

風水害はある程度事前に予測ができるので、発生する前に避難等の準備をすることができます。風水害に備えた行動を一人ひとりがあらかじめ決めたものが、マイ・タイムラインです。

それぞれのマイ・タイムラインをつくって風水害から身を守りましょう。

平常時に  
考えておく時期

### 平常時の確認事項

■ 自宅の状況を確認 自宅の危険性についてハザードマップから確認

浸水深  ～

家屋倒壊等氾濫想定区域  はい  いいえ

■ 避難する場所

避難する場所 (第1候補)

避難する場所 (第2候補)

■ 指定緊急避難場所までの時間

徒歩  分

■ 避難する際に (支援してくれる) 人  
支援する

①名前  電話

②名前  電話

警戒  
レベル3  
雨風が強くなる  
前に行く時期

市の情報	気象庁等の情報
避難準備・ 高齢者等避難開始	<ul style="list-style-type: none"> <li>大雨警報</li> <li>洪水警報</li> <li>氾濫警戒情報</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>防災スピーカー</li> <li>緊急速報メール</li> </ul>	
<b>高齢者等は避難を開始</b>	

警戒  
レベル4  
避難行動を  
開始する時期

避難勧告・ 避難指示 (緊急)	<ul style="list-style-type: none"> <li>土砂災害警戒情報</li> <li>氾濫危険情報</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>防災スピーカー</li> <li>緊急速報メール</li> </ul>	
<b>すべての人はここまで避難を完了</b>	

警戒  
レベル5  
身の安全を  
確保すべき時期

災害発生情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>大雨特別警報</li> <li>氾濫発生情報</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>防災スピーカー</li> <li>緊急速報メール</li> </ul>	
<b>命を守るための最善の行動をとる</b>	

### 備えや注意点など

わが家の備え	備えの例
<input type="text"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難する時に持って行く物を準備する</li> <li>家の周りに風で飛ばされそうなものはないか確認する</li> <li>テレビ・インターネット等で雨や川の様子に注意する</li> <li>携帯電話の充電をする</li> <li>避難しやすい服装に着替える</li> <li>市内の指定緊急避難場所等への避難開始を判断する</li> <li>安全な所へ移動を始める</li> <li>市内の指定緊急避難場所等への避難を完了する</li> </ul>

● 避難指示が出た場合は、直ちに避難を開始してください。外に避難することでかえって命の危険がある場合は、その時点にいる建物内の安全な場所で、安全を確保してください。

● 落ち着いたら自分の状況を家族や親戚などに連絡しましょう。

名前	電話番号	必需品	日中の居場所
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

2 災害に備える

## 2. 災害に備える

### 2-4 避難訓練の実施について

近年、各地で局地的な豪雨や台風による大規模な水害が発生しています。併せて、排出能力を超えた水路等の水が市街地に流れ込み、内水氾濫により、住民が避難できず建物内に孤立する事案も発生しています。

消防局では、猪名川左岸において水害を想定した訓練を実施しました。自治会などの地域団体などでも、水害を想定した避難訓練を実施しましょう。



釜段工法



積み土のう



土のう作製

### 2-5 他のハザードマップも確認しましょう

集中豪雨や台風に伴う豪雨などにより、土砂災害が発生する可能性があります。がけ崩れが発生した場合に被害を受けるおそれのある区域を示した「豊中市土砂災害ハザードマップ」、局地的な大雨や大規模な地震などにより、万が一ため池が決壊した場合の備えとして、安全で迅速な避難行動に役立てていただくことを目的とした「ため池ハザードマップ」もご確認ください。

また、風水害と地震災害では使用できる指定緊急避難場所が異なります。地震災害の指定緊急避難場所は「わが家の防災マップ」をご確認ください。

豊中市  
土砂災害ハザードマップ



豊中市  
ため池ハザードマップ



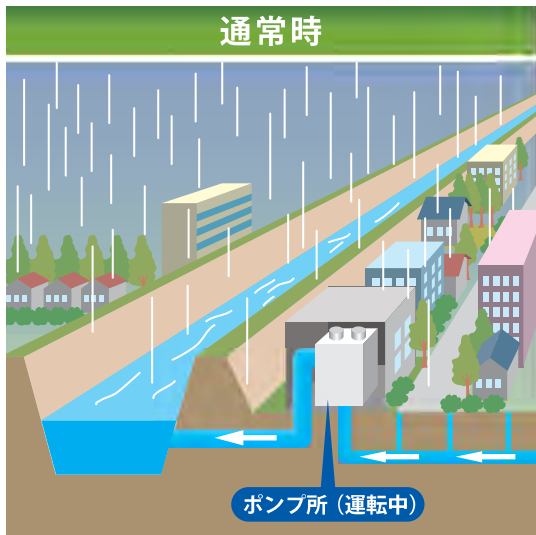
豊中市  
わが家の防災マップ



## 2-6 排水ポンプ場の役割

排水ポンプ場は、雨水を川へ流せないような地盤の低い地域において、流れてきた雨水をポンプで揚水して川へと放流するために設けられています。

ただし、大雨によって河川の水位が高くなると、堤防の決壊を防ぐためにやむを得ず排水ポンプの運転調整をすることがあります。これにより内水氾濫による浸水が大きくなる可能性があります。



## 2-7 地下空間の危険性

### 地上が冠水すると一気に水が流れ込めます。

階段を上ることは水の勢いが強いので非常に危険です。



### 地下空間では外の様子がわかりません。

雨の強さや天候の急激な変化がわかりにくいので、避難が遅れるおそれがあります。



### 浸水すると停電するおそれがあります。

電灯が消えて室内は真っ暗になります。尚、エレベーターは使えなくなります。



### 水圧でドアは開きません。

水がある程度溜まると外開きでも内開きでもドアを開けることが出来なくなります。

